

住民運動と議会論戦で 区政を動かす!!

補聴器購入費補助が実現へ

共産党が2019年に議会に取り上げ、以後区民から7回の請願・陳情。厚労省の調査・提言も示しながら、実施を求め論戦。自公などが全て反対し不採択としましたが、今年6月、区が実施の方向を表明しました。



羽田新ルート

「固定化回避」のゴマカシ明らかに



共産党は議会内での新ルート中止の共闘に尽力。12名の羽田議連の提案で国交省の区議会への説明会が実現。固定化回避といいながら国は「品川を飛ばない」とは一言も言えず、ゴマカシが明らかになりました。

特養ホーム3カ所増設

区民からの請願・陳情は37回。共産党は議会でも切実な実態を取り上げ、増設へと方針転換させました。さらに「老健施設と合わせた整備率は23区で最下位」と告発し論戦。八潮南特養ホーム増床、林試の森隣の公有地、東大井の都営住宅跡への新設。約250床の増設につながりました。



子どもの国保料半額

今年度から未就学児の半額が実現。共産党は、10年間で10分の1に削減された国保への税金投入を元に戻し、高すぎる国保料値下げや子どもの保険料無料化を議会でも唯一求めてきました。



財源は
あります

区の積立基金は

931
億円

さらに

実現へがんばります

- 羽田新飛行ルート・リニア新幹線の撤回
- 妊娠・出産費用、学校給食費、18歳までの国保料は無料に
- コロナから命を守る、医療・保健所体制の強化
- 特養ホーム、障害者施設、区営住宅の増設
- 補聴器購入費補助は港区並み(13.7万円)に
- コミュニティバスのルート拡大
- 新庁舎は低中層、福祉施設との併設で
- 住民追い出す超高層再開発・道路は中止

日本共産党